



# 輝け 多治見高校生!!

## — Have a Dream Project —

### 「まけんグミ」のパッケージをデザインし販売

平成 30 年 12 月 1 日(土)

●活動の様子が中日新聞で紹介されました。



特別パッケージの「まけんグミ」や、宣伝用の張り紙を見せる生徒たち。多治見高で

多治見高校 2 年生が多治見市と高校を PR する菓子の特別パッケージを開発した。商品の企画から販売店に置いてもらう交渉まで生徒自身が行い、流通の仕組みを学んだ。7 日から近隣の店舗で販売する。(野瀬井寛)

二年生は週一回、少人数の実習しており、開発に取り組んだのは西崎喜美子・家庭科教諭から学んでいる十三人。商品化には愛知県豊橋市の杉本屋製菓が協力した。生徒は六月から、同社の人気菓子「まけんグミ」のパッケージを新たに作ることをテーマに、同社の開発担当者を学校に招き、売れ筋商品についての説明や助言を受けながら進めた。

完成したデザインは、多治見市の夏の暑さと冬の寒さを PR する「暑さにまけんグミ」「寒さにまけんグミ」と、受験生を力づける「じぶんまけんグミ」

「受験にまけんグミ」の四種類。市内の名所の写真や、学校をイメージした自作キャラクターを印刷したり、メッセージ記入欄を設けたりするなど工夫を凝らした。市章をデザインに用いたため、市に使用許可申請をするなどの手続きも学んだ。

石田絵莉さん(も)は「小売店に商品を置いてもらうおとしたら、小売店の担当者になかなか会えず苦労した。でも良い経験になった」と表情を緩ませた。

五千四百個製造し、市内の観光案内所やスーパー「オオマツフード」三店舗、駄菓子店などで販売する。休日には生徒が売り場に立つことも予定している。

## 多治見高生が「包装」開発

中日新聞 2018 年 12 月 1 日 朝刊

#### 生徒店頭販売予定

【12月9日(日)】

オオマツフード笠原店    オオマツフード下石店    オオマツフード光ヶ丘店

【12月16日(日)】

ピアゴ多治見店

【12月16日(日)】

瑞浪バサラカーニバル    瑞浪駅前ひろば    きなあた瑞浪テント内